

立山町で新規就農を 目指しませんか？

らいじい
立山町マスコットキャラクター



産地の紹介

立山町は、富山県東部に位置し、3,000m級の山々が連なる北アルプス立山連峰があります。立山の麓に広がる扇状地にある農地は、主峰雄山が顔を見せ、冬期に山々が蓄えた雪は春から秋にかけ冷涼な水になり潤してくれます。自然に恵まれた立山町で農業に挑戦しませんか！？

立山町の主な生産・販売作物

主穀作：米、大麦、大豆、そば

野菜：ねぎ、さといも、キャベツ、じゃがいも、トマト、いちご

果樹：もも、りんご、洋なし、日本なし

畜産：肉用牛、肉用豚、採卵鶏



新たに立山町で農業を始めようと考えている方に
「白ねぎ」と「さといも」をおすすめしています！

白ねぎ栽培メリット

- ・ 県内統一規格でブランド化され、販路が確立されています。
- ・ 産地体制（予冷施設等）が整っており、初めてでも取り組みやすい作物です。
- ・ 省力機械の開発が進み、作業の省力化や大規模な栽培が可能です。

立山町で推しています！



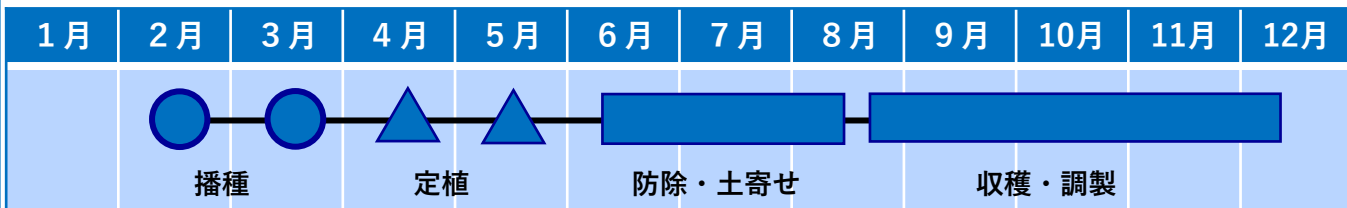
さといも栽培メリット

- ・ ほとんどの作業が機械化され、省力的に栽培できます。
- ・ 積雪前に収穫した株を貯蔵し、冬期間に出荷することもできます。
- ・ 産地体制（調製選別施設等）が整っており、市場で高い評価を受けています。

白ねぎ農家の経営モデル



(1) 作型・主な作業



白ねぎには複数の作型があり、組み合わせによりほぼ周年的に出荷できます。

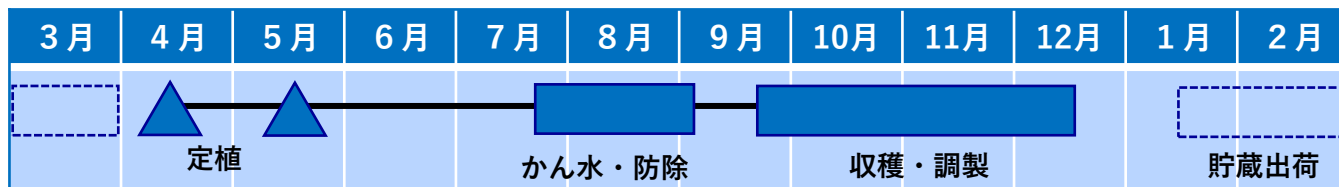
(2) 収入・経費の目安 (面積: 30a)

収入	2,160千円	販売収入 (単収2,400kg/10a × 30a × 単価300円/kg)
経費	1,287千円	材料費420千円、出荷経費591千円、減価償却費276千円
所得	873千円	※労働時間の目安426時間/10a × 30a = 1,278時間

さといも農家の経営モデル



(1) 作型・主な作業



(2) 収入・経費の目安 (面積: 30a)

収入	1,053千円	販売収入 (単収1,300kg/10a × 30a × 単価270円/kg)
経費	640千円	材料費154千円、出荷経費341千円、機械利用料145千円
所得	413千円	※労働時間の目安138時間/10a × 30a = 414時間

新規就農者への支援体制

就農までの流れ

就農
相談

とやま農業未来カレッジや
先進農家等で実践研修
【1～2年】

就農準備

農地、農業機械等の準備、
青年等就農計画の作成等

独立
就農

就農準備資金：150万円/年（最長2年間）

経営開始資金：150万円/年（最長3年間）
経営発展支援事業：農機や施設導入を助成

総合窓口：立山町地域担い手育成総合支援協議会

- アルプス農業協同組合：技術・経営指導、販路支援、資金相談、機械・施設等の確保支援など
富山農林振興センター：技術・経営指導、就農・研修等のサポートなど
立山町農業委員会：農地確保支援
立山町農林課：事務局、全体調整、相談窓口

まずは、総合窓口
(立山町農林課内)
にご相談ください！



こんな支援
あったの!?

町が求める農業者

- ①積極的に農業経営に取り組む意欲がある健康な方
- ②地域との交流ができる方
- ③町内に居住して農業経営できる方

各種制度の活用をご検討の方は以下の条件を満たしていることが必要な場合があります。

- ・ 認定新規就農者となること
- ・ 町内に居住していること

立山町で暮らしたい方へ



見に来てね～

立山町移住・定住サイト
「立山暮らし」へ

<https://www.town.tateyama.toyama.jp/teijyu/index.html>

まずはお気軽にご相談ください！

問い合わせ先：立山町地域担い手育成総合支援協議会
(事務局：立山町農林課農政係)

富山県中新川郡立山町前沢2440番地 立山町役場2階

TEL：076-462-9973 FAX：076-463-1254

